

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度第 2 回行田市女性活躍推進ネットワーク会議
開 催 日 時	平成 2 7 年 1 2 月 1 4 日（月） 開会；午前 1 0 時・閉会；午後 1 2 時 5 分
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室
出席者（委員） 氏 名	田代美江子委員（座長）、岡田恵美委員、横田京子委員、鯨井朋子委員、吉澤篤人委員、新井弘美委員、根岸桃子委員、山口千恵委員、宮本伸子委員、相原香保留委員、茂木美智代委員、松本正明委員、矢嶋直美委員（代理：小針氏）、吉田兼弘委員、吉野充子委員 （名簿順、敬称略）
欠席者（委員） 氏 名	坂詰恭子委員、土屋千鶴子委員、風間正博委員、新井幸恵委員
事 務 局	藤井宏美（市民生活部長）、岡田安弘（所長）、大澤永江（専門員）
会 議 内 容	(1)各セミナーアンケート結果について (2)「企業等の経営と女性の活躍に関するアンケート」結果について (3)各団体からの事例発表（女性活躍推進のための取組について） (4)意見交換 (5)その他
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 資料 1 各セミナーアンケート結果について ・ 資料 2 「企業等の経営と女性活躍に関するアンケート」結果について ・ 女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針の概要
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 1 名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会 ・ 市民生活部長あいさつ ・ 座長あいさつ ・ 配布資料の確認 ・ 本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。 また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて、公開させていただく。 ・ 本日の傍聴希望者は 1 名。 ・ 「行田市女性活躍推進ネットワーク会議設置要綱」第 5 条第 1 項により、座長の田代委員に議長になり議事の進行をお願いする。
座長	・ それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。 ・ 議事が円滑に進みますよう、皆様の御協力をお願いする。 ・ それでは、次第に従い議事進行させていただく。議事の（1）各セミナーのアンケート結果について事務局に説明を求める。
事務局	・ 女性活躍推進事業のセミナーについて、株式会社ゆいアソシエイツに委託して今年度 4 回実施した。 アンケート結果について、株式会社ゆいアソシエイツ代表の油井氏より報告していただく。 【株式会社ゆいアソシエイツ代表 油井氏 報告】 ・ セミナー4回を通じての考察とし、セミナーの概要、参加者の募集等及びセミナーの内容について報告する。 ・ 各回ごとのアンケート結果の特徴及び考察について報告する。 ・ 続いて「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針について」概要を説明する。
座長	・ ただいま報告のあった、議事（1）「各セミナーアンケート結果」

	について御意見、御質問等あるか。 ・ それでは、議事の（２）「企業経営と女性の活躍に関するアンケート結果について」事務局から報告後、議事（１）（２）についての御意見、御質問をお願いします。 ・ 資料（２）「企業経営と女性の活躍に関するアンケート結果について事務局に説明を求める。
事務局	・ 資料２「企業経営と女性の活躍に関するアンケート結果」をもとに、議事の（２）「企業経営と女性の活躍に関するアンケート結果について」報告する。
座長	・ 議事の（１）（２）事務局から報告があったが、委員から御意見、御質問などあるか。
宮本委員	・ アンケートに回答があった 175 件の企業の業種、規模の割合はどの様になっているのか。
事務局	・ 現在、把握していないため、後日回答する。
宮本委員	・ 企業の規模により回答も違うと思う。規模別の割合についても必要だと思う。
事務局	・ わかりました。
宮本委員	・ 回答された企業、回答されなかった企業問わず、このアンケート結果を、何かの方法で知らせて欲しい。
事務局	・ わかりました。
相原委員	・ 175 件の回答は、誰がしたのか。代表して、誰が回答したのか。

事務局	・会社により様々である。小規模の企業は代表者の回答が多いが、人事担当者や総務担当者である。
相原委員	・男性、女性どちらが回答したのか。男性、女性により、回答が異なるのではないか。
横田委員	・P46からアンケートの具体的な項目があるため、男性、女性どちらが回答しても変わらないと思う。 【油井氏】 ・アンケート回答依頼が、企業人事担当者となっている。担当者へ依頼しているため、会社の方式で回答しているので、男女のゆがみはあまり生じない。回答依頼をフリーに解除してしまうと、ゆがみが生じる可能性もある、と思うが。
吉澤委員	・当社にも女性従業員がいるが、昨年も本年も保育園に入園できないという方がいた。 他の市町村でも同じような状況であると思うが、行田市では、保育園入園に対する取組みをしているのか。
事務局	・保育園の入園に対することについては把握していないが、市内に公立保育園（3園）私立保育園(9園)あるが、調整しながら行っていると思う。
座長	・前半は、アンケートを踏まえて行田市の課題等まとめ、後半は、具体的なものとなっている。そういう点からすると、今の意見も重要となってくる。
宮本委員	・先日、子育て支援課と話す機会があり、聞いた話では、数字か

座長	ら考えると待機児童はいなくてすむはずである。これは、行田市だけの問題ではなく、制度の問題である。 母親としては、先に子どもを預けて仕事を探したい。しかし、仕事をしていないと入園できない。これは、制度による矛盾である。 先に、何か解決策を出すことができれば、先進的な市となる。 ・ 企業のアンケートから、色々な課題が具体的に出てくると思うが。 ・ 油井さんに伺うが、企業アンケートとして、回答率 22.6%はどうか。通常的な回答率なのか。回答している企業は、「やっているから回答する。」ということはないか。
油井氏	・ 「やっているから回答する。」ということはあると思う。 22.6%は、通常的な回答率であると思われる。 民間ベースで調査すると、回答率が一桁となるが、行政の調査では、それなりに対応するため、大体この様な回答率である。
座長	・ 企業の抱えている課題などの視点から、御意見、御質問は何かあるか。 ・ 宮本委員からもあったが、やはり、回答している企業の規模によって、できる事、できない事があり、それぞれ課題が見えてくる。少人数の企業では、男性が有休をとるのも難しいという現実がある。やはり、規模別の資料も必要だと思う。 ・ あとで、何か御意見等あったら、出して欲しい。 ・ それでは、議事の「(3) 各団体からの事例発表」につて、事務局からの説明後、各団体から発表をお願いします。 ・ 事務局に説明を求める。
事務局	・ 各団体の女性活躍推進の取組みについて、1 団体 3 分程度で、

岡田委員 (行田商工会議所)	岡田委員から順に発表をお願いする。 ・商工会議所の職員が中心となり、市内の女性経営者4名と経営勉強会を実施している。第1クールでは、市内の女性をターゲットとした「大人の女性限定クーポン付チラシ」を作成した。今後も勉強会を継続し、メンバーの増加と、女性経営者ならではの取り組みで地域の活性化を図っている。
横田委員 (㈱十萬石)	・当社は、お菓子の製造販売という女性指向の強い業種である。女性社員の割合は高く、平成27年現在84%となっている。様々な制度を設け、育児や介護と仕事の両立を支援する体制を整えてきた。また、女性店長、ブロック長への登用、教育も積極的に行い、仕事への意欲、責任ある社会人への育成を通して、この体制の活用、推進をアピールしている。しかし、サービス業ならではの課題も抱えている状況である。
鯨井委員 (コルコート㈱)	・設計、製作、製造の会社で従業員126名（うち女性31名）である。就業継続の取り組みとしての制度として、育児短時間制度、介護短時間制度、生理休暇、子の看護休暇がある。また、制度を利用する前に、不安等解消のためのガイダンスを行い、中間期での面接、職場復帰前の面接等行うことで、職場復帰をスムーズにしている。平成16年以降、婚姻・出産で退職した方は、ゼロである。
吉澤委員 (㈱ファイブイズホーム)	・当社では、女性が設計、住宅引渡し前の検査、事務職で活躍している。女性社員は60名。5年前に、初めて育児休暇をとった女性第1号。育児短期制度を利用した後、現在も仕事を継続中である。第1号の女性のアドバイスやフォローで、今では、育児休暇→

新井委員 (㈱埼玉りそな 銀行)	復帰→育児短期制度利用が自然の流れとなっている。 短時間勤務している方も、高い集中力で仕事をし、成果を上げている。 当社の考えは、社員の声を聞きながら、仕組みを変えていく必要な事を制度化していく。対応できるものは、その都度制度化していく。 ・女性が働きやすい企業にしていくための環境整備として、ポストチャレンジ制度を利用した管理職への積極的な登用、女性リーダー養成研修の実施、復職セミナー等の実施を行っている。 2015年3月時点の女性管理職比率は、30%となっている。 2015年4月から「さくらそうプロジェクト」を始動した。 女性目線を活かした「さくらそうプロジェクト」の活動を通じて、頑張る女性を応援するための商品の開発やサービスの向上へつなげている。
根岸委員 (（福）隼人会 まきば園)	・当施設による女性職員（全職員161人中女性120人） 仕事量、仕事の内容に男女差なし。管理職11人中、女性4人。 産休・育休取得経験のある職員24人のうち、2回以上取得している職員は10人、現在取得中の職員は8人である。 産休・育休取得については、制度に働き方を当てはめるのではなく、本人がどう働きたいのかを重視している。
山口委員 (JAほくさい 女性部行田支 部)	・女性の教養を高め、社会的、経済的な向上を努めると共に、社会に貢献する事を目的に活動している。 主な活動として、健康で風土に合った食生活をおくるために、生活改善教室や地産地消活動や地域の美観を守るために、地域貢献活動の実施。また、地域高齢者の交流のために、高齢者福祉活動の実施等を行っている。
宮本委員	・学内の女性比率（2015年度現在）は、教員39名中女性1名、

(学校法人 ものづくり大 学)	職員 63 名中女性 28 名で、女性比は率約 28%である。 学生（大学院含む）1,091 名中女性 76 名で、女性比率は約 7%である。 制度としては、教職員向けに、妊婦や子育て中の休息等を規定・育児休業等に関する規定・介護休業等に関する規定がある。 また、学生向けには、特段規定等はないが、休学等の相談対応を行っている。
相原委員 (自治会女性 部連絡会)	・地域に住む女性達が、自分達の街を自分達の手で住みよい街にするために、住民同士の協力により立ち上げた団体である。 年間計画をたて、学び、体験しながら、地域社会の奉仕に取り組んでいる。 女性が働くということと、子育てとの関係について考える点もある。
茂木委員 (日だまりサロ ン)	・お母さんを元気にして、明るく温かい家庭・家族を目指した、母親のレベルアップを目的に、毎月 1 回「ほっと一息 ティータイム」を設け、家庭、学校、地域社会での様々な課題・問題点（思春期の子育て、教育、介護、夫婦関係など）について、気軽に話し合い、学び合い、共感し合って、情報交換をしている。また、「長所を伸ばそう 親子で語る進路」「ストレスを力に」など、講師を招いて講座を開催している。
松本委員 (埼玉労働局 行田公共職業 安定所)	・ハローワークでは、失業保険の給付、また、ハローワークに登録してある膨大な企業から、気に入った会社があれば、紹介状の発行と面接までの支援をしている。 希望の職種に対してスキルが足りない等の人に対して、ハローワークの負担で、学校に通うことができる職業訓練制度による支援をしている。パンフレットにより、詳細の説明をする。
矢嶋委員	・県の三大プロジェクトの一つとして、ウーマノミクスプロジェ

(代理：小針氏) (埼玉県産業労働部ウーマノミクス課)	クトを進めている。 働きやすい環境に変えるために、「多様な働き方実践企業」を認定している。また、企業内保育所の整備を行っている。 平成20年から、埼玉県女性キャリアセンターにて、女性の就業・起業を支援するために、資格や経験を生かした再就職支援・女性コーディネーターによる相談対応を備えた「女性企業支援ルーム」の運営や女性経営者支援資金による支援等を行っている。
座長 (国立大学法人 埼玉大学)	・埼玉大学でも、2009から男女共同参画室が設置され、女性研究者支援部と男女共同参画推進部に分かれている。私は、男女共同参画推進部に所属している。 教職員はもとより学生に対しての男女共同参画の啓発を行っている。教育学科の学生は、モデルがあるが、特に工学部の女子学生は働き続けるモデルがイメージできず、自分の将来に不安を持っているのが現実である。 学生を応援するために、埼玉県ウーマノミクス課と協力しながら、セミナーの開催や女性起業家の講演等行っている。 ・短時間ではあるが、意見交換ということで、他に何かあるか。
宮本委員	・男女共同参画の社会は、あたりまえとなっている。 女性の職業生活における支援だけでなく、男性の職業生活における支援も必要である。男性の家庭生活への参画、女性だけでなく、男性も育児休暇がとれるようになればよいと思う。
座長	・企業の取組みの発表で、制度を硬直的でなく柔軟に運用し、働いている人の意見を聞いて必要なサポート支援がなされていることがわかった。 短時間勤務で働いている方が、集中して仕事ができるという実態は、長時間労働でなく短時間労働のモデルとなる。これは、

	今後、日本男性の長時間労働を、どう短時間労働にするかという課題につながるし、またそれが、女性の活躍につながると思う。
油井氏	・ アンケート調査について、気付いた点について このアンケート調査結果については、このままどこにも利用しないのか。色々なデータがあるので、ぜひ、企業や市民の方に知らせて欲しい。一部、データに違いがあるようなので、確認が必要である。
座長	・ 議事の（５）その他について、事務局から説明を求める。
事務局	・ 各団体からの発表の事例、また、企業へのアンケート結果について、次回第３回ネットワーク会議で報告書として提出する。 ・ 第３回ネットワーク会議は、２月１５日開催予定である。
座長	・ それでは、委員の皆様から何か意見や確認をしておきたい事項等あるか。 よろしいか。 それでは、本日の議事は全て終了した。これをもって座長の任を解かせていただく。
事務局	・ 第２回行田市女性活躍推進ネットワーク会議を閉会とする。